



GIMSYS工法用滑材

ジムシス材

GIMSYS工法研究会

ジムシス材とは、2液滑材被膜形成システム（GIMSYS）工法に使用される滑材で、被膜を形成するゲル型滑材〔M-10〕および被膜内側に注入される液状滑材〔L-I〕で構成されます。

ジムシス材〔M-10〕

ジムシス材〔M-10〕は低粘性の二液を混合ゲル化させたもので、強い弾力性を有し、加圧されても変形するだけで破壊されません。
仮にちぎれても、接触すれば復元し一体化します。

ジムシス材〔M-10〕の性状

材 料 名	外 観	比 重	臭 気
A 材	淡黄色顆粒	1.30～1.35	無し
B 材	白色粉末	2.45～2.50	無し

材 料 名	外 観	比 重	粘度(mPa・s)
A 液	淡黄色液体	1.015	60～70
B 液	乳白色液体	1.015	20～30

ゲルタイム

ジムシス材〔M-10〕は珪酸ソーダ系の二液性滑材と違い、A・B液が混合された瞬間からゲル化が起こります。
ゲル化は時間経過とともに全体に広がり、約2分程度で80%の強さに至り、1時間後には反応が終わります。

使用方法

- A液、B液別々に作液します。
グラウトミキサーに所定量の水を入れ、攪拌しながら各材料を投入します。
- 材料粉末が十分溶解した後、A・B各液をジムシス専用プラントを使用し、等量注入します。

ジムシス材〔M-10〕配合表

	材料使用量		練上り
A 液	A材	水	200 ℓ
	12kg	191 ℓ	
B 液	B材	水	200 ℓ
	2kg	199 ℓ	

ジムシス材【L-I】

ジムシス材【L-I】はゲル型滑材によって形成された被膜と推進管との間に注入される液状滑材です。

【L-I】は、加圧されても脱水されず安定した性状を保つため、滑材効果が持続します。

ジムシス材【L-I】の性状

【L-I】粉体		【L-I】溶液		
外 観	比 重	粘度(mPa・s)	比 重	臭 気
淡黄色顆粒	1.3～1.5	90～100	1.003	無し

使用方法

- グラウトミキサーに所定量の水を入れ、攪拌しながら、材料をふりかけるように投入します。
- 材料粉末が十分溶解した後、ジムシス専用プラントを使用し注入します。

ジムシス材【L-I】配合表

L-I	水	練上り
1.5kg	199 ℓ	200 ℓ
7.5kg	995 ℓ	1 m ³

使用上の注意

ジムシス材は、使用水の水質により性状が大きく変わりますから、施工前の「試験練り」は必ず行って下さい。

安全性

ジムシス材は有害物を含まず、産業廃棄物の規制基準、排水基準をクリアしており安全性の極めて高い材料です。

ジ ム シ ス
GIMSYS工法研究会

ジムシス材 製造販売元

株式会社 とがわ 商 事

土木資材事業本部

〒270-1154 千葉県我孫子市白山1-7-7-103

TEL.04(7179)8081 FAX.04(7179)8082